

第4次とよおか教育プラン (豊岡市教育振興基本計画) 2020年度 実践計画

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成

～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～



2020年3月

豊岡市教育委員会

目 次

■2020年度実践計画 施策・取組一覧	・・・	1
■表記・記号の説明	・・・	4
■基本方針1 「生きる力」を育む教育の推進		
基本的方向1 「あたまの力」の育成	・・・	5
基本的方向2 「こころの力」の育成	・・・	9
基本的方向3 「からだの力」の育成	・・・	14
基本的方向4 「あたま・こころ・からだの3つの力を支える 基礎力」の育成	・・・	16
基本的方向5 特別支援教育の充実	・・・	19
■基本方針2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立		
基本的方向1 教職員の資質・能力の向上	・・・	21
基本的方向2 学校園の組織力の強化	・・・	24
基本的方向3 安全・安心な教育環境の整備・充実	・・・	26
基本的方向4 家庭と地域による学校と連携した教育の推進	・・・	28
■資 料	・・・	32
◇ 国・県等の指針に基づき実施している施策一覧表	資料1	
◇ 豊岡市小中一貫教育「豊岡こうのとりのプラン」概要	資料2	
◇ 豊岡市不登校対策アクションプラン	資料3	
◇ 新体力テスト結果(2018年)	資料4	
◇ 暮らしのアンケート結果(2018年)	資料5	
◇ 児童生徒数の推移	資料6	

第4次とよおか教育プラン 2020年度実践計画 施策・取組一覧

基本方針1 「生きる力」を育む教育の推進		担当課
基本的方向1 「あたまの力」の育成 ……P. 5		
施策① 学力の向上		
1	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進及び全国学力・学習状況調査の結果に基づいた分析と対応	こども教育課
2	2 読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進 <関連>	
3	3 きめ細かな指導の充実を図るための指導補助教員の配置	
施策② 小中一貫教育を核とした連携教育		
4	1 ふるさと教育の推進	こども教育課
5	2 英語教育の推進	
6	3 コミュニケーション教育の推進	
7	4 系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導の充実	
8	5 ローカル&グローバル学習の時間の充実に係る研究の推進	
9	6 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた小学校区を基本単位とした「園小接続」の推進	
10	7 小規模校の教育課題に対応するための「小小連携教育」の推進	
基本的方向2 「こころの力」の育成 ……P. 9		
施策① 体系的・系統的なキャリア教育		
11	1 多様な体験活動の実施によるキャリア形成への支援	こども教育課
12	2 子どもの野生復帰大作戦の展開	生涯学習課
施策② 子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動		
13	1 児童会・生徒会活動、リーダー研修会等の充実	こども教育課
14	2 福祉体験活動やボランティア活動など社会体験の機会の充実	
15	3 非認知能力向上のための取組の推進	
16	4 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催	生涯学習課
施策③ 「対話」により考えを深める道徳教育		
17	1 体験的・実践的な活動を通じた道徳性の育成	こども教育課
施策④ 生命の尊厳を基盤にした人権教育		
18	1 人権課題に対応した人権教育の充実	こども教育課
19	2 人権尊重を基盤とした社会をめざす教育の推進と家庭・地域・関係機関との連携の推進	
施策⑤ 過去の災害の教訓を踏まえた防災教育		
20	1 過去の災害等を踏まえた防災・減災授業の実施	こども教育課
施策⑥ 読書活動の充実		
21	1 読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進 <関連>	こども教育課
22	2 団体貸出の推進 <新>	生涯学習課
23	3 おはなし会等の充実 <新>	
24	4 読書に関する情報の提供 <新>	
基本的方向3 「からだの力」の育成 ……P.14		
施策① 体力・運動能力の向上		
25	1 「豊岡市版小学校体育準備運動」の共通実践と体育授業の充実	こども教育課
施策② 望ましい食習慣の形成を図る食育		
26	1 食に関する指導の充実と「食育の日」、「弁当の日」の推進	こども教育課
施策③ 健康課題や危機に適切に対応する健康教育・安全教育		
27	1 規則正しい生活習慣の確立	こども教育課
28	2 安全に対する意識の高揚	

基本的方向4 「あたま・こころ・からだの3つの力を支える基礎力」の育成		・・・P.16
施策① 健康な体づくり		
29	1 幼児期における運動遊びの推進	こども育成課
30	2 食育の推進	
施策② 基本的な生活習慣の確立		
31	1 「生活リズム」及び「基本的な生活習慣」の定着とその推進	こども育成課
32	2 道徳性・規範意識の育成	
施策③ 様々な体験活動を通じた好奇心や探究心の育成		
33	1 環境を通して行う教育・保育の充実 <新>	こども育成課
34	2 人と関わる力の育成	
35	3 様々な体験活動の積み重ね	
36	4 英語遊び保育の推進	
37	5 自然との関わりの充実	
施策④ 人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成		
38	1 絵本の読み聞かせの推進	こども育成課
39	2 感じたことや考えたことを表現する力の育成	
40	3 話す力・聞く力の定着	
基本的方向5 特別支援教育の充実		・・・P.19
施策① 発達特性の理解と早期からの一貫した支援		
41	1 豊岡市こども支援センターの機能の充実	こども教育課
42	2 スーパーバイザー支援事業の実施	
43	3 教職員の専門性向上をめざした実践的研修の推進	
44	4 卒業後までを見通した教育的支援・指導の引継ぎの推進	
45	5 特別支援教育支援員の効果的な活用	こども育成課
46	6 すくすく訪問支援事業の実施	
47	7 就学前からの就学後も継続した相談支援の充実	
施策② 共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習		
48	1 市内特別支援学級の交流の実施	こども教育課

基本方針2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

基本的方向1 教職員の資質・能力の向上		・・・P.21
施策① 教職員の資質と実践的指導力の向上		
49	1 授業づくりと学級づくりの一体化の質的向上	こども教育課
50	2 教員の指導力の向上を図る校内研修等の推進	
51	3 校内研修担当者研修の充実	
52	4 教職員の研修ニーズに対応する研修の充実	
53	5 初任者等、若手教職員研修の充実	
54	6 豊岡市中学校教育研究会・教科部会の充実	
55	7 児童生徒及び教職員のICT活用能力の向上	
56	8 就学前の教育・保育計画「第2次スタンダード・カリキュラム」や「すくすくプログラム—5つの育てたいカー—」を基本にした就学前教育の充実	こども育成課
施策② ワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革		
57	1 「学校における働き方改革」の推進	こども教育課
基本的方向2 学校園の組織力の強化		・・・P.24
施策① 教育職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かす協働体制の確立		
58	1 管理職研修の充実	こども教育課
59	2 学校教育経営研修の充実	
施策② いじめや不登校等への対応		
60	1 いじめの未然防止、早期発見・早期対応の充実	こども教育課
61	2 小・中学校と関係機関との生徒指導に係る情報交換の推進	
62	3 不登校対策の充実	
63	4 相談支援事業の実施	
64	5 「子どもの心を理解する強化月間」の充実	
65	6 「アセス」を活用した生徒指導の充実	
基本的方向3 安全・安心な教育環境の整備・充実		・・・P.26
施策① 学校園及び給食センターの安全対策やICT環境等の教育環境の整備・充実		
66	1 学校園施設等の定期的な安全点検及び整備	教育総務課
67	2 非構造部材等落下防止対策の推進 <拡>	
68	3 ICT環境の整備	
69	4 地産地消の推進と安全・安心な学校給食の提供	こども教育課
70	5 通学(園)路の安全点検及び関係機関・保護者・地域との連携強化	
71	6 通学(園)手段の確保	
施策② 様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する就学支援		
72	1 就学援助費の支給	こども教育課
73	2 特別支援教育就学奨励費の支給	
基本的方向4 家庭と地域による学校と連携した教育の推進		・・・P.28
施策① 家庭における子どもが伸びる習慣づくり		
74	1 「すくすくメッセージ」や紙芝居「めらとにんじやのしゅぎょう」を活用した乳幼児期の生活リズムの定着	こども育成課
75	2 「運動遊びパンフレット」等による家庭や地域での運動遊び・外遊びの促進	こども教育課
76	3 家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立	
77	4 ブックスタートの推進	生涯学習課
施策② 親としての学びへの支援		
78	1 PTA活動の充実	こども教育課
79	2 子育て家庭を対象とした子育て講座の実施	こども育成課
80	3 親子が交流できる機会の充実	
施策③ 関係機関の連携による子育て支援		
81	1 子育てに関する相談の充実	こども育成課
82	2 学校園と家庭児童相談室・こども家庭センターなどの関係機関との連携	
施策④ 地域全体で子どもを育てる環境づくり		
83	1 安全ボランティアによる見守り活動の継続及び活動支援	こども教育課
84	2 学校・家庭・地域の連携強化	
85	3 「地域とともにある学校」づくりの推進 <新>	
86	4 仕事と子育ての両立支援	こども育成課
87	5 子どもと心をつなげる市民運動の推進	生涯学習課
88	6 図書ボランティア活動の促進 <新>	

【表記・記号の説明】

1 指標項目について

(1) 「■」印の指標項目

全国学力・学習状況調査（毎年4月20日頃実施・8月下旬結果公表）の結果の数値を使用。従って、実施年度の数値は前年度の取組が反映すると捉えられるが、実施年度の結果を目標値に対応させて評価することとする。

(2) 「□」印の指標項目

全国学力・学習状況調査以外の全国調査や各担当課による独自調査、取組による結果の数値を使用する。

2 指標数値について

(1) 2019現状値

原則は2019年度の実績値を表記するが、取組によっては前年度の実績値を表記する。この場合においては、当該年度を〔 〕で表記する。

(2) 2020目標値

2020年度に到達すべき目標値を設定する。

※■印の指標（全国学力・学習状況調査結果を使用）について、目標値を「全国平均＋5ポイント」に設定している。なお、現状値が既に「全国平均＋5ポイント」を上回っている指標については、目標値を現状値以上とする。

3 施策・取組における備考欄について

(1) 新規項目

基本理念の実現に向け、2020年度から新たに取組を実践計画に掲載するものについて、備考欄に「新」印を表記する。

(2) 拡充項目

基本理念の実現に向け、前年度の取組をさらに拡充し、充実をめざすものについて、備考欄に「拡」印を表記する。

(3) 関連項目

ひとつの取組が異なる施策にそれぞれ深く関係し、位置付けが必要なものについて、備考欄に「関連」と表記する。

基本方針 1 「生きる力」を育む教育の推進

子どもたちが生きていく社会においては、主体的な学びや多様な人々との協働を通じて課題解決につなげる考えや行動を生み出すこと、生活を豊かにしていくための人間としての感性を働かせることが求められる。そこで、子どもたちの発達段階や多様なニーズを踏まえて、幼児教育から小・中学校までの接続を重視しながら、「あたまの力」「こころの力」「からだの力」をバランスよく育成し、「生きる力」を育むことが必要になる。

このため、以下の基本的方向に沿って、教育施策の充実を図る。

基本的方向 1 「あたまの力」の育成

子どもたちが、自立して活動していくためには、十分な知識・技能、これらを基盤として自ら解を導く思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学びに向かう力・人間性等を身に付けることが重要である。

このため、①学力の向上、②小中一貫教育を核とした連携教育等に取り組む。

〔指 標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
■「全国学力・学習状況調査」における正答率40%以下の児童生徒の割合	小国 22.4% 小算 13.5% 中国 11.8% 中数 20.3%	小国 12.5%以下 小算 8.5%以下 中国 9.2%以下 中数 2019 現状値以下
■国語、算数、数学の勉強が好きだと思っている児童生徒の割合	小国 61.3% 小算 70.3% 中国 53.6% 中数 56.6%	小国 69.2% 小算 73.6% 中国 66.7% 中数 62.9%
■授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童生徒の割合	小 86.4% 中 76.3%	小 2019 現状値以上 中 79.8%
■話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童生徒の割合	小 83.6% 中 78.8%	小 2019 現状値以上 中 2019現状値以上
■家庭など学校での授業以外で平日に学習時間が30分以上の児童生徒の割合（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	小 94.7% 中 88.9%	小 95.2% 中 92.0%
■地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	小 63.9% 中 39.5%	小 2019 現状値以上 中 44.4%

施策① 学力の向上

取組	取組名	内容	
1	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進及び全国学力・学習状況調査の結果に基づいた分析と対応	<p>すべての子どもの学力の向上を図るため「授業における5つの『徹底・継続』実践事項¹⁾」を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む。</p> <p>学力向上検討委員会及び各小・中学校で、日常の授業改善に資することを視点にして、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、対応策を講ずる。</p>	
2	読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進	<p>朝学習等を活用した一斉読書や家庭読書、図書館との連携（おはなし会の開催）等、学校において創意工夫し読書の習慣化を図る。</p> <p>「豊岡市推薦図書一覧」等を効果的に活用したり、国語科の「多読型単元²⁾」をはじめ、様々な教科において読書活動と連動したりするなど、子どもたちが様々なジャンルの本や文章に触れる機会を設定し、読書の質の向上を図る。</p>	関連 1-2-⑥-1
3	きめ細かな指導の充実を図るための指導補助教員の配置	<p>30人を超える小学校1年生の学級のほか、豊岡の教育課題解決に向け、ALT（外国語指導助手）、英語教育推進員、特別支援教育支援員³⁾、特別支援教育アドバイザー⁴⁾、不登校対策指導補助教員を配置し、複数の教員等によるきめ細かな指導の充実を図る。</p>	

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 外部人材を活用した放課後等における補充学習の実施
- 新学習システムによる指導体制や指導方法の工夫・改善

- 1) 授業における5つの『徹底・継続』実践事項
2014年度全国学力学習状況調査の分析結果を基に学力向上検討委員会が提示した対応策。
①めあて・学習課題の提示 ②考えを発表する場の設定 ③話し合う活動の場の設定 ④書く活動・活用する場の設定 ⑤振り返り活動の設定
- 2) 多読型単元
国語科において、複数のテキストを関連付けながら読んだり、学習したことを活用して読書（多読）につなげたりすることができる単元。
- 3) 特別支援教育支援員
特別支援学級に在籍する子ども及び通常学級に在籍する身体的な障害、知的障害、発達障害等により特別な支援を要する子どもの学習活動や学校生活が円滑に進むよう支援を行う。
- 4) 特別支援教育アドバイザー
発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方等について、教職員、特別支援教育支援員等に対し、支援・助言を行う。

施策② 小中一貫教育⁵⁾を核とした連携教育

取組	取組名	内容	
1	<p>ふるさと教育の推進</p> <p>「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習課題にし、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力の育成をめざす。</p>	<p>小学校3年生から中学校3年生において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習課題としたふるさと教育を実施する。</p> <p>各学年1回以上ゲストティーチャーを招いたり、現地に行ったりして体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学びを実現し、学習の成果を発信、交流する。</p> <p>※ 巻末の資料2「豊岡こうのとりのとりプラン」全体構想図を参照。</p>	
2	<p>英語教育の推進</p> <p>小学校1年生から、外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊び⇒外国語活動⇒外国語科へと9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと自分のことを語る力を高める。</p>	<p>小中学校のすべての学年において、「小中9年間の系統性と連続性のある指導（学習内容や学習方法等）」を意識し、授業研究や授業実践を行う。</p> <p>子どもたちが学んだことを活用する場や外国語指導助手から学ぶ場を、授業や学校生活の中に多く設定したり、「English Summer Camp」等のイベントへの参加を促したりしながら、英語でのコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>※ 巻末の資料2「豊岡こうのとりのとりプラン」全体構想図を参照。</p>	
3	<p>コミュニケーション教育の推進</p> <p>グローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力の育成をめざす。</p>	<p>小中学校のすべての学年において、「めざすコミュニケーション能力の視点とその留意点」（豊岡市作成）に基づき、日常の学習、生活におけるコミュニケーション教育の充実を図る。</p> <p>小学校6年生と中学校1年生においては、演劇的手法を取り入れた授業を実施するとともに、プロ講師を招聘して授業公開及び協議会を行い、授業力の向上を図る。</p> <p>※ 巻末の資料2「豊岡こうのとりのとりプラン」全体構想図を参照。</p>	
4	<p>系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する学習指導と生活指導の充実</p> <p>豊岡市の3つの教育課題（「不登校」「学力」「特別な支援が必要な子どもたちの教育的ニーズへの対応」）の改善を図る。</p>	<p>「授業づくりと学級づくりの一体化」「引継ぎ連携システム（アプローチ&スタートカリキュラム）の強化」「家庭・地域との連携」の3つの柱で推進する。</p> <p>※ 巻末の資料2「豊岡こうのとりのとりプラン」全体構想図を参照。</p>	

5	ローカル&グローバル学習の時間の充実に係る研究の推進	ローカル&グローバル学習の時間（ふるさと教育、英語教育、コミュニケーション教育）の充実に向けた授業研究を行う。講師を招聘した授業及び事後研究会等を市内教職員に公開し、指導力の向上を図る。	
6	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ⁶⁾ 」を踏まえた小学校区を基本単位とした「園小接続」の推進	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた教育活動を実施するために、園児と児童及び職員の交流や保育・授業参観等を通して相互理解を十分に深める。 また、民間の保育園・認定こども園との連携など、各小学校区の課題に応じた独自の実践等に取り組む。	
7	小規模校の教育課題に対応するための「小小連携教育」の推進	小規模校における教育課題の軽減を図るため、連携する学校の実態に応じて、合同で授業を行う等の取組を計画的に行う。	

5) 小中一貫教育

めざす子ども像や育てたい資質・能力を共有し、「ローカル&グローバル学習の時間」「学習指導と生活指導」の2つの視点で、子どもたちの9年間の学びと育ちを支え、生きる力を育む取組。

6) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

2017(平成29)年度告示の「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」で示された共通の姿。「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」の10の姿がある。



ふるさと教育(コウノトリの郷公園で体験的な活動)



英語教育



小小連携(合同での授業)

基本的方向2 「こころの力」の育成

子どもたちが、人間ならではの感性を働かせて、より豊かに活動していくためには、発達段階に応じた体験的な活動を通じて、子どもたちの豊かな情操や道徳心を培うことが重要である。

このため、①体系的・系統的なキャリア教育⁷⁾、②子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動、③「対話」により考えを深める道徳教育、④生命の尊厳を基盤にした人権教育、⑤過去の災害の教訓を踏まえた防災教育、⑥読書活動の充実等に取り組む。

なお、読書活動は、教育プランに基づく方策を新たな「子どもの読書活動推進計画」に位置付け、総合的かつ体系的に取り組を進めていく。

7) キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

〔指標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
■将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 85.3% 中 66.8%	小 88.8% 中 75.5%
■自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小 86.8% 中 73.8%	小 2019 現状値以上 中 79.1%
■ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあると思う児童生徒の割合	小 95.8% 中 93.2%	小 100% 中 98.9%
■学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある児童生徒の割合	小 86.7% 中 84.5%	小 89.1% 中 87.8%
■学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり30分以上読書をする児童生徒の割合（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）	小 38.0% 中 21.9%	小 44.8% 中 32.0%
□図書館の団体貸出を利用した学校園の数	園 10 園 小 26 校 中 1 校	園 16 園 小 29 校 中 4 校
□図書館が行うおはなし会等の実施学校園数	園 5 園 小 3 校 中 1 校	園 12 園 小 8 校 中 3 校

施策① 体系的・系統的なキャリア教育

取組	取組名	内容
1	多様な体験活動の実施によるキャリア形成 ⁸⁾ への支援	<p>他者と協力・協働して社会に参画する態度や、自ら考え主体的に行動し問題を解決する能力等を育成するため、発達段階に応じた多様な体験活動を実施する。</p> <p>特にふるさと教育において、多様な体験活動を通じ、保護者や地域、関係機関等と連携しながら、子どものキャリア形成を支援する。</p>

2	子どもの野生復帰大作戦の展開	<p>野外体験プログラムの提供により、地域の自然・文化・伝統を学び、心身の鍛錬・躍動を醸成し、感性を磨き、地域への愛着、共生の精神をより深め、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもたちを育成する。</p>
---	----------------	---

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 組織的・系統的なキャリア教育の推進
- 地域との連携を図った「トライやる・ウィーク」事業の充実
- 生徒一人一人の能力・適性を踏まえた進路指導の実施

8) キャリア形成
 自立した社会人・職業人として将来に必要な能力の育成。



子どもの野生復帰大作戦(沢登りチャレンジ)

施策② 子どもたちの発達段階に応じた体験を重視した活動

取組	取組名	内容
1	児童会・生徒会活動、リーダー研修会等の充実	自分たちの生活をよりよくしようとする意識を高め、夢や志を持ったリーダーを育成するために、児童会・生徒会活動、中学校生徒会リーダー研修会等の充実を図る。
2	福祉体験活動やボランティア活動など社会体験の機会の充実	「ふれあい育児体験」や高齢者等との交流など、地域、関係機関、団体等とのつながりを深め、「思いやりの心」「命を大切に作る心」等を育てる。 また、リサイクル活動や清掃活動、除雪活動等への参加を促し、地域の一員としての自覚を高め、「自立心」や「共に生きる心」を育てる。
3	非認知能力 ⁹⁾ 向上のための取組の推進	「学びに向かう力」として、大人になっても必要不可欠な非認知能力向上を目的とした小学校低学年による演劇体験ワークショップをモデル校において試行する。研究者と連携して、評価方法に係る研究に取り組む。

4	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催	<p>子どもたちが、世界で活躍する音楽家とふれあう機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てるとともに、大人も一緒に楽しめるクラシック音楽があふれるまちづくりをめざし、学校訪問コンサート・街角コンサート・ホールコンサート等を開催する。</p> <p>学校訪問コンサート 小学校6校 子どもたちのためのコンサート 3か所</p>
---	-----------------------	---

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- ふるさとの「ひと・もの・こと」に学ぶ「環境体験事業」「自然学校」等の推進
- 学校・地域で学ぶことのできる文化や伝統を大切にしている活動の推進

9) 非認知能力

IQ や学力テスト等の数値では表しにくい内面の力であり、保育、教育活動等を通して、繰り返し取り組むことで育つ力(やり抜く力、自制心、協働性 等)。



リーダー研修会



非認知能力向上のための取組(演劇ワークショップ)



子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭
(子どもたちのためのコンサート)



子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭
(学校訪問コンサート)

施策③ 「対話」により考えを深める道徳教育

取組	取組名	内容
1	体験的・実践的な活動を通じた道徳性の育成	<p>学校の教育活動全体で道徳教育と密接な関連を図りながら、組織的・計画的に取り組む。また、道徳の教科化について理解を深め、道徳教育の要として、地域教材を活用しながら、問題解決的な学習等を取り入れ、「考え、議論する道徳」の授業づくりを推進する。さらに、積極的に授業を公開し、家庭や地域の人々の理解と協力を得るよう工夫する。</p>



道徳教育

施策④ 生命の尊厳を基盤にした人権教育

取組	取組名	内容
1	今日的な人権課題 ¹⁰⁾ に対応した人権教育の充実	人権教育資料（改訂版「ほほえみ」「きらめき」）等を人権教育年間指導計画に位置付ける。また、関係機関と連携した情報モラル研修会（年1回以上）や人権教育関係資料や地域の人材等を活用した校内研修を行う。同和問題を人権問題の重要な柱と捉えつつ、人権課題の解決に向け、総合的に人権教育に取り組む。
2	人権尊重を基盤とした社会をめざす教育の推進と家庭・地域・関係機関との連携の推進	「豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」を教材として活用したり、家庭・地域・関係機関との連携を図ったりして、人権尊重の理念に対する理解を深め、生命の尊厳や、自他に対する肯定的な態度と共生社会の実現に向けた実践力を培う。

10) 今日的な人権課題
いじめ・インターネットによる人権侵害・女性・子ども・高齢者・障害のある人・外国人等に対する人権課題。

施策⑤ 過去の災害の教訓を踏まえた防災教育

取組	取組名	内容
1	過去の災害を踏まえた防災・減災授業の実施	「台風23号に係る防災教育資料」、「水害に関わる防災授業資料」、防災教育副読本「明日に生きる」等を活用し、過去の災害を踏まえた年3回のメモリアルデー ¹¹⁾ 防災・減災授業を実施する。体験型の防災教育を充実させ、過去の教訓を継承していくことで、子ども自らが状況を判断し、「自分の命は自分で守る力」を育てる。

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 地域・専門機関等と連携した防災訓練の実施
- 学校防災体制の充実

11) メモリアルデー
北但大震災(5月23日)、台風23号水害(10月20日)、阪神・淡路大震災(1月17日)

施策⑥ 読書活動の充実

取組	取組名	内容	
1	読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざした読書活動の推進	朝学習等を活用した一斉読書や家庭読書、図書館との連携（おはなし会の開催）等、学校において創意工夫し読書の習慣化を図る。 「豊岡市推薦図書一覧」等を効果的に活用したり、国語科の「多読型単元」をはじめ、様々な教科において読書活動と連動したりするなど、子どもたちが様々なジャンルの本や文章に触れる機会を設定し、読書の質の向上を図る。	関連 1-1-①-2
2	団体貸出の推進	図書館の蔵書を年齢やテーマに応じて図書館司書等が本を選び、学校園に貸し出し、子どもたちの読書環境を補完する。	新
3	おはなし会等の充実	図書館では、年齢やテーマに応じた本を使ってストーリーテリング ¹²⁾ や読み聞かせを組み合わせたおはなし会を開催し、子どもたちにお話の楽しさを伝え、聞く力を育み、読書に対する興味を高める。 学校と連携し、学校に出向いた形でも実施している。	新
4	読書に関する情報の提供	図書館の蔵書から、テーマ別・年齢別等、多様な図書リストを作成して学校等に配布することで、読書への興味を広げる。	新

12) ストーリーテリング

語り手が昔話や創作などの物語を覚え、語り聞かせること。「素話」ともいう。



おはなし会

基本的方向3 「からだの力」の育成

子どもたちが、活力を持って創造的に活動していくためには、スポーツを楽しみ継続して運動できる資質・能力の育成を図るとともに、健康で安全な生活を送るための基盤となる心身の調和の取れた発達を図ることが重要である。

このため、①体力・運動能力の向上、②望ましい食習慣の形成を図る食育、③健康課題や危機に適切に対応する健康教育・安全教育等に取り組む。

〔指 標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
□新体力テストにおける小学校5年生と中学校2年生の体力合計点のT得点 ¹³⁾	小5男 50.8 小5女 52.6 中2男 50.6 中2女 50.2 (全国平均T得点50)	2019現状値以上
□体育の授業は楽しいと思う児童生徒の割合	小 95.7% 中 90.8%	小 2019現状値以上 中 2019現状値以上
■朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小 88.2% 中 86.7%	小 91.7% 中 87.3%

13) T得点

全国平均値(50)に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。

施策① 体力・運動能力の向上

取組	取組名	内容
1	「豊岡市版小学校体育準備運動」の共通実践と体育授業の充実	「幼児期の運動遊び」を小学校につなげる「豊岡市版小学校体育準備運動」、「運動と学習をセットにした豊岡モデル」を全小学校において実践する。 さらに、小・中学校では「豊岡市版小学校体育準備運動」等の活用により十分な活動量を確保しながら、運動する楽しさや心地よさを味わわせる授業づくりに取り組む。

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

○ 新体力テストを活用した体力づくり運動の実施と体育・スポーツ活動の推進

運動と学習をセットにした豊岡モデルの例

運動タイム



朝の時間、元気ハツラツ、笑顔で運動

きりかえタイム



運動の後、「動」から「静」にメリハリをつけ、静かに黙想

集中タイム



そして、「心」も「体」も落ち着いたところで、集中して問題に取り組む

施策② 望ましい食習慣の形成を図る食育

取組	取組名	内容
1	食に関する指導の充実と「食育の日」、「弁当の日 ¹⁴⁾ 」の推進	<p>栄養教諭等と連携した食に関する指導を行うとともに、学校園の教育活動全体を通して、地域の産業や自然・食文化についての指導の充実を図る。</p> <p>「豊岡市食育実践事例集」等を活用したり、「食育の日」（毎月19日）や「弁当の日」と関連付けたりしながら、学校園・学校給食センター・家庭・地域が連携した取組を行う。</p>

14) 弁当の日

食生活や健康についての関心を高めたり、家族への感謝の気持ちを育んだりすることを目的に、子どもたちが弁当作りやその手伝い（献立作りや買い物、調理等）を行う取組。

施策③ 健康課題や危機に適切に対応する健康教育・安全教育

取組	取組名	内容
1	規則正しい生活習慣の確立	心身の健康課題を解決するために、学校園だより等を通じて家庭や地域と連携し、子どもの規則正しい生活習慣（食事、運動、睡眠）の確立を図る。とりわけ、睡眠の大切さについての意識を高めるための取組を推奨する。
2	安全に対する意識の高揚	自らの命を守り抜くための主体的に行動する態度を身に付けさせるため、交通安全・防犯教室等を実施し、日常生活の中に潜む危険を予測しながら、的確な判断・行動ができるよう意識の高揚を図る。

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 発達段階に応じた健康教育の推進
- 関係機関と連携した各種講習会の推進
- 地域安全マップの作成等を通じた安全・防犯対策
- 地域や警察等関係機関と一体となった防犯訓練の実施



交通安全教室



職員防犯訓練

基本的方向4 「あたま・こころ・からだの3つの力を支える基礎力」の育成

子どもたちが、乳幼児期において、生活や遊びといった直接的・具体的な体験を通して、人間としてよりよく生きるための基礎を培うとともに、心身共に健やかに成長する土台となる基本的な生活習慣等を育成することが重要である。

このため、①健康な体づくり、②基本的な生活習慣の確立、③様々な体験活動を通じた好奇心や探究心の育成、④人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成等に取り組む。

※①～④の施策について、実践計画では、園等で発達段階に応じて取り組む施策の順番とするため、第4次とよおか教育プラン基本方針1の施策の掲載順を上記のとおり変更しています。

〔指標〕

指標名	2019現状値 ※1	2020目標値
□体を動かして遊ぶことが好きな園児の割合	98.6%	2019現状値以上
□友だちと遊ぶことが好きな園児の割合	99.6%	2019現状値以上
□午後9時までに就寝する園児の割合 ※2	36.5%	67%
□毎日朝食を食べている園児の割合	94.2%	2019現状値以上
□毎週1回以上、家庭で絵本の読み聞かせをしている家庭の割合	66.7%	75%
□幼稚園・保育園・認定こども園に行くことが楽しいと思っている園児の割合	99.1%	2019現状値以上
□「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」のお礼が言える園児の割合	91.7%	2019現状値以上
□家で遊んだ後に、おもちゃなどの片付けができる園児の割合	67.4%	2019現状値以上

※1 現状値は5歳児保護者アンケート調査結果による。

※2 「午後9時半までに就寝する園児の割合」の2019現状値は76.1%。

施策① 健康な体づくり

取組	取組名	内容
1	幼児期における運動遊びの推進	各園において、幼児期から楽しく体を動かして、友達と一緒に遊ぶ機会を多く持ち、心も体も健康で豊かな人間性を持った子どもを育成する。 また、親子で楽しく体を動かす習慣を身に付けさせるために、地域や子育てセンター等において親子ふれあい運動遊びを推進する。
2	食育の推進	野菜の栽培やクッキングなど楽しく食べる体験活動や栄養士による食育指導を通して、食事のマナーや望ましい食習慣の定着と食への関心を育む。



運動遊び



クッキング

施策② 基本的な生活習慣の確立

取組	取組名	内容
1	「生活リズム」及び「基本的生活習慣」の定着とその推進	<p>子どもの発達段階に応じた基本的な生活習慣（排泄・衣服の着脱・食事・歯磨き・あいさつなど）を身に付けられるようにする。</p> <p>また、紙芝居「めらとにんじやのしゅぎょう」、園行事、園だよりやアンケート調査、養護教諭による保健指導等を通して、乳幼児期からの睡眠の大切さを園児や保護者に伝え、園と家庭が連携して生活リズム等の定着を図る。</p>
2	道徳性・規範意識の育成	<p>園での生活や遊びを通して、友達との関わりを深め、思いやりの心を育む。</p> <p>また、集団生活の中で決まりがあることの大切さや善悪の判断など、道徳性・規範意識を育む。</p>

施策③ 様々な体験活動を通した好奇心や探究心の育成

取組	取組名	内容
1	環境を通して行う教育・保育の充実	<p>子どもが主体的に様々な遊びを選択し、自ら、夢中になって遊び込みたくなる教育・保育的価値のある環境構成を図る。</p>
2	人と関わる力の育成	<p>応答的な姿勢、丁寧な対応などによる保育者との信頼関係を基盤に、自立心の芽生えや自己肯定感を育む。そして、友達や保育者との関わりの中で、人と関わることの喜びや楽しさを味わわせる。</p> <p>また、交流保育や地域の人たちを交えた行事などを通して、様々な人との関わり方に気付かせる。</p>

3	様々な体験活動の積み重ね	<p>子どもの感性を豊かに育む体験ができるよう体験活動を積極的に行う。</p> <p>また、地域の文化に触れる機会を設け、興味や関心を持たせる。</p>
4	英語遊び保育の推進	<p>幼児期からの英語遊びを通して楽しみながら英語を経験し、人と関わろうとする気持ちや外国の言葉や文化への興味を持つようとする気持ちの素地を育む。</p>
5	自然との関わりの充実	<p>季節や地域の自然と積極的に関わる中で、その変化や偉大さ、不思議さを感じ、興味や関心を持たせる。</p> <p>また、動植物との関わりの中で愛着を持ち、命あるものを大切にしようとする気持ちを育む。</p>



園外保育(地域の牛舎へ)



英語遊び保育

施策④ 人の話を聞き、自分の思いを言葉で表現する力の育成

取組	取組名	内容
1	絵本の読み聞かせの推進	<p>園における毎日の読み聞かせにより、絵本や物語などに親しみ、興味を持って見たり、聞いたりするようになることで、豊かな感性や言葉を育てる。</p>
2	感じたことや考えたことを表現する力の育成	<p>子どもが生活の体験の中で感じたことを受け止め共感することで、自分なりに感じたことや考えたことを表現しようとする気持ちや態度を育む。</p>
3	話す力・聞く力の定着	<p>言葉への興味・関心を育て、発達段階に応じた伝え方や聞いてもらえることの嬉しさを感じさせるとともに、人の話を聞く力を育てる。</p>

基本的方向5 特別支援教育の充実

一人一人の子どもたちが、特性や発達の段階に応じて能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加するために必要な力を育成することが重要である。

このため、①発達特性の理解と早期からの一貫した支援、②共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習等に取り組む。

〔指標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
■学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合	小 87.2% 中 82.9%	小 90.8% 中 86.9%
□豊岡市子ども支援センターへの支援依頼に対して支援を行った子どもの割合	[2018]100%	100%
□通常学級（通級指導除く）で個別の指導計画を作成した児童生徒の割合 ※校内委員会で作成が必要である児童生徒数を内数とする	[2018] 94.5%	100%
□通常学級（通級指導除く）で個別の教育支援計画を作成した児童生徒の割合 ※校内委員会で作成が必要である児童生徒数を内数とする	[2018] 74.8%	100%

施策① 発達特性の理解と早期からの一貫した支援

取組	取組名	内容
1	豊岡市子ども支援センター ¹⁵⁾ の機能の充実	特別な支援が必要な子どもを適切に支援していくために、豊岡市子ども支援センターにおいて、臨床心理士等による個別相談、発達に関する検査（心理検査、視知覚検査等）を実施する。 保護者や学校・園に個々の特性や課題に応じた関わり方や支援の手立てを助言する。
2	スーパーバイザー ¹⁶⁾ 支援事業の実施	スーパーバイザーの指導により、指定中学校区において、すべての子どもに分かる授業をめざして、一人一人の子どもの発達特性を踏まえた支援と指導の充実を図る実践的な授業研究を行う。
3	教職員の専門性向上をめざした実践的研修の推進	特別な支援が必要な子どもの教育的ニーズ等に応じた指導・支援を行うため、子どもの実態把握、個別の指導計画や個別の教育支援計画等の作成や活用、授業のユニバーサルデザイン化等についての校園内研修の実施や、市教委等の主催の研修に参加して、教職員の専門性の向上を図る。
4	卒業後までを見通した教育的支援・指導の引継ぎの推進	学校等は、個別の教育支援計画等の定期的な見直しをしながら、本人・保護者に十分な情報を提供し、合意形成を図る。就学、進学、就労にあたっては、一貫した切れ目ない支援を行うため、特別支援教育コーディネーターを中心に、個別の教育支援計画や個別の指導計画、保幼小連絡シート、小中連絡シート、中高連携シート、サポートファイル等を確実に引き継ぐ。

5	特別支援教育支援員の効果的な活用	特別支援教育支援員を幼稚園、認定こども園、小・中学校に配置し、子どもに寄り添いながらきめ細やかに適切な教育の推進を図る。また、特別支援教育支援員を効果的に活用していくため、調整役である特別支援教育コーディネーターの専門性を高めるための研修を行う。	
6	すくすく訪問支援事業の実施	個別の支援が必要な園児を早期に発見し、園児や保護者へ適切に対応できるようにするため、心理士等が園を訪問し、保育者への指導助言を行う。	
7	就学前から就学後も継続した相談支援の充実	子育てに関する相談の中から、特別な支援が必要な子どもを早期に発見し、保護者の思いに寄り添いながら適切な支援を受けられる関係機関へつないでいく。 また、就学や学校・園生活などに不安を抱える保護者に対して、就学前から随時必要な情報を提供し、教育相談や関係機関との連携により適切な支援を行う。	

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- チームで取り組む校内外支援体制の充実
- ニーズに応じた合理的配慮の提供
- 個別の教育支援計画の作成・活用の促進
- 個別の指導計画の作成・活用の促進

15) 豊岡市こども支援センター

不登校・発達障害等、特別な支援を必要とする子どもたちへの組織的な支援を行うために、豊岡市が設置する教育機関。

16) スーパーバイザー

事業の指導を行う専門家。



スーパーバイザー支援事業



特別支援教育研修

施策② 共に学ぶことで豊かな人間性を育む交流及び共同学習

取組	取組名	内容
1	市内特別支援学級の交流の実施	特別支援学級在籍の子どもたちの自立をめざし、子ども同士の交流活動や自然体験活動を創意工夫して実施する。

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 交流及び共同学習の充実

基本方針2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

子どもたちの豊かな学びを実現するためには、子どもたちの多様な学びに対応するための教職員一人一人の資質・能力の向上、チーム学校として取り組む組織づくり、安全・安心な教育環境の整備を図ることが必要である。加えて、子どもたちが安心できる家庭教育に関する環境づくり、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりを支援し、学校・家庭・地域が連携・協働した教育を推進することが必要である。

このため、以下の基本的方向に沿って、教育施策の充実を図る。

基本的方向1 教職員の資質・能力の向上

教職員は、使命感や責任感、教育的愛情、教科や教職に関する専門的知識・実践的指導力等、必要な資質・能力を高めるため、体系的な研修を行うことが重要である。また、増加、多様化する職務の中で、勤務時間の適正化を図り、限られた時間の中でワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革を行うことが重要である。

このため、①教職員の資質と実践的指導力の向上、②ワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革等に取り組む。

〔指標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
■先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合	小 92.7% 中 86.1%	小 2019現状値以上 中 86.5%
□授業中に学習に対する児童生徒の興味・関心を高めるために、コンピューターや提示装置を活用して資料などを効果的に提示できる教職員の割合	小[2018]92.1% 中[2018]90.4%	小 2019現状値以上 中 2019現状値以上

施策① 教職員の資質と実践的指導力の向上

取組	取組名	内容
1	授業づくりと学級づくりの一体化の質的向上	分かる授業づくりと肯定的な人間関係を構築する学級づくりを一体化させ、授業で子どもに寄り添い、授業で学級をつくることをめざし、校内研修等の充実に取り組む。
2	教員の指導力の向上を図る校内研修等の推進	各学校等における教育課題を明らかにするとともに、課題解決に向けて外部講師の招聘等により、校内研修の充実を図る。

3	校内研修担当者研修の充実	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をめざし、研究者による講義や実践交流等を通して、校内研修の推進役としての資質・能力の向上を図る。
4	教職員の研修ニーズに対応する研修の充実	教育課題に対する教職員の研修ニーズに対応するため、参加者の希望や実態に応じた研修を行う。
5	初任者等、若手教職員の研修の充実	初任者の教職員としての資質・能力の向上を図るため、演習や授業研究を中心にした研修を3回程度行う。若手教職員を対象に、実践的な研修を行い、授業力等の向上を図る。
6	豊岡市中学校教育研究会・教科部会の充実	中学校教職員としての専門性と実践的指導力の向上を図るため、授業研究によって指導方法の工夫や改善について実践的な研究を行う。
7	児童生徒及び教職員のICT活用能力の向上	授業における効果的なICTの活用やプログラミング教育の充実に向けた実践的な研修を行い、児童生徒がICTを効果的に活用して、情報を収集・選択・処理・発信・伝達できる能力を育成する。
8	就学前の教育・保育計画「第2次スタンダード・カリキュラム ¹⁷⁾ 」や「すくすくプログラム—5つの育てたい力—」を基本にした就学前教育の充実	<p>人間形成を図る上で最も重要な乳幼児期に、保育者との信頼関係を基盤に非認知能力を育むことを大切にした教育・保育に努める。</p> <p>そのために、子どもの育ちや学びを連続的に捉え、小学校教育との確かな接続を図るよう教育・保育内容の工夫に努める。</p> <p>(1) 「第2次スタンダード・カリキュラム」を活用した保育の実践と公開保育研修会の充実に努め、職員の資質向上を図る。</p> <p>(2) 0歳児から5歳児までの発達を捉えた保育のために保育者の合同研修や経験年数、担任年令別研修の一層の充実を図る。</p> <p>(3) 園児と児童との交流や幼稚園・保育園・認定こども園の保育者と小学校教員との交流により、情報共有と共通理解を図る。</p> <p>(4) 「すくすくプログラム」の改訂・更新を行い、0～2歳児の内容の充実を図る。</p>

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

○ 児童生徒理解に基づく生徒指導の推進と対応能力の向上

17) 第2次スタンダード・カリキュラム（2020年2月策定）

2017年の「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の改訂を踏まえ、2010年に策定した豊岡市の就学前教育・保育年間指導計画を改訂・更新したもの。



初任者研修



児童生徒の ICT 活用



第2次スタンダード・カリキュラム



保育者の合同研修会

施策② ワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革

取組	取組名	内容
1	「学校における働き方改革」の推進	<p>「学校における働き方改革」推進方針(2020年3～4月策定予定)に基づき、校務支援システムを効果的に活用し、校務を効率的に行い、教職員の勤務時間の適正化を図るとともに、子どもたちと向き合う時間を確保する。</p> <p>また、教職員の心身の健康の保持増進と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することにより、学校教育の質の向上を図ることを目的として、学校における働き方改革を推進する。</p>

基本的方向2 学校園の組織力の強化

新しい時代に求められる資質・能力を育む教育課程の実現やいじめや不登校等に適切に対応するためには、教職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かしていく協働体制を確立することが重要である。

このため、①教職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かす協働体制の確立、②いじめや不登校等への対応等に取り組む。

〔指標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
■いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小 98.0% 中 95.2%	小 100% 中 100%
□不登校児童生徒の割合	小[2018]0.48% 【2018全国出現率 0.70%】 中[2018]3.69% 【2018全国出現率 3.81%】	2019現状値以下

施策① 教職員一人一人の力を組織的かつ機動的に生かす協働体制の確立

取組	取組名	内容
1	管理職研修の充実	教育の今日的課題を踏まえ、地域や保護者に信頼される学校園経営の在り方について研修するとともに、市の教育課題について対応策を協議する。
2	学校教育経営研修の充実	教育の今日的課題を踏まえ、参加型の研修等を通して、学校経営への参画意識を高め、管理職及びミドルリーダーとしての資質・能力の向上を図る。

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 働きやすい職場環境づくり
- 学校評価を活用した運営改善と評価結果の公表



管理職研修

施策② いじめや不登校等への対応

取組	取組名	内容
1	いじめの未然防止、早期発見・早期対応の充実	全小中学校において「いじめアンケート」を毎月実施し、いじめに対する意識の高揚を図り、いじめの早期発見に役立てる。 市においては、「豊岡市いじめ防止基本方針」に基づき、関係機関や関係団体と緊密な連携を図りながら、学校と一体となって取り組む。
2	小・中学校と関係機関との生徒指導に係る情報交換の推進	学校・家庭・地域社会や警察、青少年センター等関係機関が連携を密にして連絡会・豊岡市いじめ対応ネットワーク会議等を開催し、多面的かつ共感的理解に基づく生徒指導の推進を図る。
3	不登校対策の充実	「不登校対策アクションプラン」に基づいて取組を推進する。 不登校担当者会や各校において「不登校対策実践事例集」を活用した研修等を実施し、教師の資質向上と学校の組織的な対応の質的向上を図る。 さらに、引継ぎ連携システムを強化し、9年間を通して継続的・組織的に関わる体制をつくる。 ※ 巻末の資料3「不登校対策アクションプラン」を参照
4	相談支援事業の実施	スクールカウンセラーを市内の小・中学校に配置することにより、学校における教育相談体制の充実や教員の資質の向上を図るとともに、小中の連携強化を図る。 また、スクールソーシャルワーカーを各中学校に配置し、小学校や関係機関等との連携強化により支援体制の充実を図る。
5	「子どもの心を理解する強化月間」の充実	全校で年3回（5月、9月、2月）、「子どもの心を理解する強化月間」を設定して、アンケート調査、個別面談等を実施し、子どもの状況について把握するとともに、教職員間で共通理解を図り、組織的にいじめや不登校、問題行動等の早期発見、早期対応に努める。
6	「アセス ¹⁸⁾ 」を活用した生徒指導の充実	「アセス」を小学校3年生以上のすべての子どもたちに年2回以上実施し、心の状態を客観的に把握する。また、結果を分析して、全職員によるきめ細かな対応の充実を図る。

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

○ いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応の充実

18) アセス

学校環境適応感尺度（ASSESS：Adaptation Scale for School Environments on Six Spheres）。学校生活に関するアンケートにより、児童・生徒の学校生活への適応感を総合的に測定する。

基本的方向3 安全・安心な教育環境の整備・充実

子どもたちが安心して学校園生活を送るためには、安全で質の高い教育環境の整備を図ることが重要である。

このため、①学校園及び給食センターの安全対策や ICT 環境等の教育環境の整備・充実、②様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する就学支援等に取り組む。

〔指標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
□小学校屋内運動場・武道場非構造部材等落下防止対策の実施率	34.5% 【10校】	51.7% 【15校】
□学校給食において地場産物(市内産の野菜)を使用する割合	36.3%	2019 現状値以上

施策① 学校園及び給食センターの安全対策や ICT 環境等の教育環境の整備・充実

取組	取組名	内容	
1	学校園施設等の定期的な安全点検及び整備	子どもたちの安全を確保し、学習環境を向上させるため、施設、設備等を定期的に点検し、計画的に修繕、改修、整備を行う。	
2	非構造部材等落下防止対策の推進	地震によって落下する恐れのある屋内運動場・武道場の照明器具や放送設備などの非構造部材等について、2023 年度までにすべての小学校の整備完了をめざし、計画的に落下防止対策を行う。 ※中竹野小学校は社会体育施設として整備されているため、整備対象外 ※中学校は 2019 年度で整備完了	拡
3	ICT 環境の整備	子どもたちの情報活用能力、情報モラルを育成し、協働学習等新しい学習を推進するため、教育用コンピューター等を整備する。 文部科学省が策定した「教育の ICT 化に向けた環境整備 5 か年計画 (2018～2022 年度)」を踏まえ、計画的に整備を進める。	
4	地産地消の推進と安全・安心な学校給食の提供	地域や地元生産者との連携を広げ、地場産物を生きた教材として活用することにより、ふるさとの食材について子どもたちの理解を深めるとともに、コウノトリ育む農法によるお米や雪室で保存された野菜等を積極的に使用し、地産地消の推進を図る。 また、学校給食センターにおける衛生管理体制や、関係機関等と連携したアレルギー対応の充実を図り、安全安心な学校給食の提供を行う。	

5	通学（園）路の安全点検及び関係機関・保護者・地域との連携強化	<p>交通安全、防犯、防災について、警察、県及び市の道路部局等の関係機関と連携して、点検・整備を行う。</p> <p>学校（園）では、保護者、地域の安全ボランティアによる見守り活動と連携を図りながら、安全で安心して通学（園）できる環境を整える。</p> <p>また、小学生への防犯対策として、小学校へ入学する全児童に、防犯ブザーを無償配布する。</p>
6	通学（園）手段の確保	<p>遠距離通学・通園する子どもたちのために通学（園）手段を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス及びJR定期券代の補助（補助率10/10） ・路線バスがない地域でのスクールバスの運行



ICT 環境の整備



学校給食(小松菜収穫体験)

施策② 様々な困難や課題を抱える子どもたちに対する就学支援

取組	取組名	内容
1	就学援助費の支給	<p>経済的な理由により、就学させることが困難な児童生徒（要保護・準要保護児童生徒）の保護者に対し、学用品費や給食費等必要な援助を行う。</p> <p>なお、就学援助費のうち、新入学児童生徒学用品費を原則として入学前に支給する。</p> <p>（援助対象：生活保護及び生活保護に準ずる家庭）</p>
2	特別支援教育就学奨励費の支給	<p>特別支援学級在籍児童生徒等の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費や給食費等、就学に必要な経費の一部を援助する。（所得制限あり）</p>

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 多子世帯・ひとり親世帯・低所得世帯の保育料負担軽減
- 実費徴収に係る補足給付事業の実施（保育所・認定こども園・幼稚園）

基本的方向4 家庭と地域による学校と連携した教育の推進

家庭は、すべての教育の出発点であり、家族の触れ合いの時間を確保し、基本的なしつけを通して、人間関係の基礎を形成し道徳性の芽生えを培うことや、食生活や睡眠を含めた規則正しい生活習慣を身に付けさせることが重要である。加えて、子どもたちが地域の中で、体験的な学びと交流によって豊かな成長がかなえられるよう、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりや学校からの積極的な情報発信を踏まえた学校園・家庭・地域との緊密な連携が重要である。

このため、①家庭における子どもが伸びる習慣づくり、②親としての学びへの支援、③関係機関の連携による子育て支援、④地域全体で子どもを育てる環境づくり等に取り組む。

〔指標〕

指標名	2019現状値	2020目標値
□子育て講座の実施回数	29回	30回
■今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小 92.9% 中 77.1%	小 2019 現状値以上 中 2019現状値以上
□PTCAあいさつ強化月間の取組参加者数	5月 11,172人	2019現状値以上
□保育園・認定こども園待機児童数	14人 〔2019.9.1現在〕	0人
□放課後児童クラブ待機児童数	3人 〔2019.9.1現在〕	0人
□夏休みラジオ体操顔見知り運動 ¹⁹⁾ に5回以上参加した中学生の割合	89.7%	95%

19) 夏休みラジオ体操顔見知り運動
中学生が地元で開催されるラジオ体操に参加し、地域とのつながりをつくる運動。

施策① 家庭における子どもが伸びる習慣づくり

取組	取組名	内容
1	「すくすくメッセージ ²⁰⁾ 」や紙芝居「めらとにんじゃのしゅぎょう ²¹⁾ 」を活用した乳幼児期の生活リズムの定着	園や子育てセンター等様々な機会を活用して、乳幼児期の睡眠や食育から生活リズムが確立されていくことを伝える。「すくすくメッセージ」については、伝えたいことが明確に、直感的に分かるよう構成や表記を変更する。
2	「運動遊びパンフレット」等による家庭や地域での運動遊び・外遊びの促進	運動遊びや外遊びにより、家庭や地域での親子の交流を促進する。
3	家庭での基本的な生活習慣と学習習慣の確立	基本的な生活習慣の実践と家庭学習及び読書の習慣化を図るため、「はばたきメッセージ ²²⁾ 」の活用、学校だよりによる啓発、各校のPTAとの連携等に取り組む。

4	ブックスタート ²³⁾ の推進	乳児への本の読み聞かせの重要性を保護者に説明するとともに、すべての乳児に絵本をプレゼントすることで、家庭での親子読書（家読）に取り組むきっかけをつくる。
---	----------------------------	--

20) すくすくメッセージ

育児のポイントや困ったときの相談先を掲載した豊岡市オリジナルの冊子。妊娠期・産後の生活や赤ちゃんの世話についてまとめた冊子を母子手帳交付時に、生活リズムや幼児期の関わり方についてまとめた冊子を3歳児健診時に、それぞれ配布している。

21) 紙芝居「めらとにんじゃのしゅぎょう」

人生の中で幼児期に最も多く分泌されるホルモン「メラトニン」を題材にした豊岡市オリジナルの紙芝居。よく食べること、体を動かして遊ぶこと、しっかり眠ることの大切さを子どもたちにも分かりやすく伝えている。

22) はばたきメッセージ

子どもたちの心身ともに健やかな成長を願い、教育の原点である家庭生活における実践内容をメッセージとして豊岡市教育委員会がまとめたもの。小学校入学説明会で、全入学児童の家庭に配布。

23) ブックスタート

7か月児健康診査に合わせ、絵本の読み聞かせと保護者への指導、絵本のプレゼントを行う。

施策② 親としての学びへの支援

取組	取組名	内容
1	P T A活動の充実	保護者自らも成長していくために、教育課題等について学び情報共有するための研修会の開催を支援し、市P T A連合会及び単位P T A活動の活性化を図る。
2	子育て家庭を対象とした子育て講座の実施	子育てセンター等において、妊娠期から乳幼児期にかけての子育て不安の解消を図るため、子育て家庭を対象とした講座を実施する。
3	親子が交流できる機会の支援	地域等で、乳幼児の親子を対象とした交流を支援する。



子育て講座

施策③ 関係機関の連携による子育て支援

取組	取組名	内容
1	子育てに関する相談の充実	子育てセンターや家庭児童相談員により、子育てに関する悩みや不安を抱える保護者や子どもに関する相談を充実する。

2	<p>学校園と家庭児童相談室・こども家庭センターなどの関係機関との連携</p>	<p>学校園と市要保護児童対策協議会の構成機関との連携強化により、児童虐待の早期発見、対応に努め、支援を必要とする子どもや家庭を総合的に支援する。構成機関の情報共有のため代表者会議、実務者会議等を開催する。</p> <p>学校園等から子どもの虐待通告があった場合は、子どもの安全確保を最優先し、県豊岡こども家庭センター、警察等と連携し、子どもの安否確認、一時保護等の要請を行う。</p>	
---	---	---	--

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

○ 子育てに関する情報発信

施策④ 地域全体で子どもを育てる環境づくり

取組	取組名	内容	
1	<p>安全ボランティアによる見守り活動の継続及び活動支援</p>	<p>登下校時の子どもの安全を確保するため、地域の安全ボランティアの協力を得たり、安全ボランティアの活動を支援したりするなどして、見守り活動の継続と更なる充実を図る。</p>	
2	<p>学校・家庭・地域の連携強化</p>	<p>学校ホームページを活用して、学校の取組を地域に発信する。</p> <p>学校支援コーディネーター²⁴⁾、学校支援ボランティア等のスキル向上に関する研修会や人材確保に取り組み、小中学校と連携・協働した活動を実施する。</p> <p>また、これまでの学校支援地域活動による「地域の学校支援」から、「地域と学校、双方向の連携・協働」を推進する地域学校協働活動へ移行し、「あいさつ運動」や子どもの地域・地区行事への参加を推進する。</p>	
3	<p>「地域とともにある学校」づくりの推進</p>	<p>「地域とともにある学校」づくりの組織的な取組を推進するため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）²⁵⁾ 導入に向け、モデル校による先行的な取組を通して有効な在り方の検討を行う。</p>	<p>新</p>
4	<p>仕事と子育ての両立支援</p>	<p>仕事と子育ての両立を支援するため、保育園・認定こども園や放課後児童クラブの受入れ体制の拡充を図るとともに、安心して預けることができるよう、園やクラブの職員に対する研修等を充実させ、質の向上を図る。</p> <p>また、一時的な子どもの預かりなど会員間の相互援助活動が円滑かつ活発に行われるようファミリーサポートセンター事業の充実を図る。</p>	

5	子どもと心でつながる市民運動の推進	<p>青少年を非行から守り健全な育成を図るため、次のスローガンを掲げて、浸透を図り全市をあげての市民運動として取り組む。</p> <p>(1) 家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる。 (2) 地域の子どもは地域で育てよう。 (3) 顔でつながり、声でつながり、心でつながる。 (4) やめよう見て見ぬふり、しっかりほめて、しっかり叱ろう。 (5) ふやそう地域で汗する中高生</p> <p>特に、①豊岡あいさつ A 7 運動²⁶⁾の普及啓発と②インターネットの適正利用の支援を活動の柱に設定する。</p>	
6	図書ボランティア活動の促進	<p>子どもの読書活動に関わるボランティアの研修会を開催し、資質を高め、活動の促進につなげる。</p>	新

* 国県等の指針に基づき実施している施策（詳細は巻末の資料1に記載）

- 青少年補導委員活動の充実
- 学校評議員制度を活かした学校園づくりの推進
- 学校関係者評価の実施と結果の公表
- 幼稚園・保育園・認定こども園の園児と在宅親子との交流

24) 学校支援コーディネーター

市教育委員会が委嘱し、学校と地域をつなぎ、学校におけるボランティア活動が効果的なものとなるようコーディネート活動を行う者。

25) コミュニティ・スクール

学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める、法律（地教法第47条の6）に基づいた仕組み。

26) 豊岡あいさつ A7 運動

子どもの基本的な生活習慣の確立と規範・人権意識の向上のため、「おはよう」「いってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさま」「おやすみなさい」「ありがとう」の7つの、基本となるあいさつを推進するもの。



安全ボランティアによる登下校の見守り



ファミリーサポートセンター事業
(子どもの預かり)



地域学校協働活動(田植え体験)



地域学校協働活動(伝統継承：但州湯島の盆)

資 料

- ◇資料1 国・県等の指針に基づき実施している施策一覧表
- ◇資料2 豊岡市小中一貫教育「豊岡こうのとりのプラン」概要
- ◇資料3 豊岡市不登校対策アクションプラン
- ◇資料4 新体カテスト結果（2018年）
- ◇資料5 ぐらしのアンケート結果（2018年）
- ◇資料6 児童生徒数の推移

国・県等の指針に基づき実施している施策一覧表

- この施策一覧表では、実践計画本編では記載しないが、国・県等の施策により実施している取組について掲載しています。

【基本方針 1－基本的方向 1】「あたまの力」の育成

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
1-1-①	外部人材を活用した放課後等における補充学習の実施	学力補充のため、放課後等における地域人材等を活用した「とよおかがんばりタイム」や各校の実態に応じた補充学習等を実施する。
1-1-①	新学習システムによる指導体制や指導方法の工夫・改善	個に応じた指導の充実や中学校への円滑な接続、小中一貫教育の円滑な推進にかかる指導体制や複式学級での学年・教科の指導の充実等を図るため、県の「新学習システム」を推進する。

【基本方針 1－基本的方向 2】「こころの力」の育成

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
1-2-①	組織的・系統的なキャリア教育の推進	すべての教職員の共通認識のもと、特別活動を要しつつ、教育活動全体を通して、組織的・系統的なキャリア教育を推進する。 キャリアノートやキャリア教育指導資料等を積極的に活用し、生涯を通じて学ぶことや働くこと、家庭・地域生活を送ることなど、将来の生き方を理解し、自らが果たすべき役割について考えさせる指導を系統的・継続的に行う。
1-2-①	地域との連携を図った「トライやる・ウィーク」事業の充実	生徒の主体性を尊重した社会体験を通して、豊かな感性や創造性を高め、自分なりの生き方を見つけることができるよう支援する。 また、体験を通して学んだことをその後の生活や学習に活かすための事後指導を充実させる。
1-2-①	生徒一人一人の能力・適性を踏まえた進路指導の実施	自らの意思と責任で主体的に進路を選択して決定できる能力や態度を育成するため、保護者との連携のもと、生徒の能力・適性、興味・関心等を踏まえた進路指導に取り組む。
1-2-②	ふるさとの「ひと・もの・こと」に学ぶ「環境体験事業」「自然学校」等の推進	自然に対する畏敬の念や美しさに感動する心、また、ふるさとを誇りに思う心を育てるため、「環境体験事業」や「自然学校」等を推進し充実を図る。
1-2-②	学校・地域で学ぶことのできる文化や伝統を大切にする活動の推進	地域で学ぶことのできる自国や他国の歴史や文化について理解を深め、大切にする態度を育成する。

1-2-⑤	地域・専門機関等と連携した防災訓練の実施	地域の災害特性、近年の津波や土砂災害の被害等を踏まえ、平素から家庭、地域住民、近隣学校園、市防災課、消防署等の専門機関との連携を強化し、実践的な防災訓練（含避難所開設）を実施する。
1-2-⑤	学校防災体制の充実	県の「学校防災マニュアル」を踏まえ、防災訓練等の機会を活用し、災害対応マニュアルを不断に見直すとともに、校園内研修等を通じて危機管理意識や判断力の向上を図る。

【基本方針 1－基本的方向 3】「からだの力」の育成

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
1-3-①	新体力テストを活用した体力づくり運動の実施と体育・スポーツ活動の推進	運動する機会と運動量の確保のため、新体力テストの結果分析に基づき各校の課題を設定し、各校の特色ある体力づくりを推進する
1-3-③	発達段階に応じた健康教育の推進	多様化、深刻化している心身の健康課題を解決するため、発達段階に応じて、規則正しい生活習慣（食事、運動、睡眠）や喫煙、飲酒、薬物乱用、危険ドラッグ、感染症（インフルエンザ、エイズ等）、アレルギー疾患、性に関する指導等、体系的な健康教育を推進する。
1-3-③	関係機関と連携した各種講習会の推進	教職員をはじめ、児童生徒自らが健康や安全に関する対応能力を身に付けるために、消防署と連携した救命講習会（AEDを含む）等の開催を推進する。
1-3-③	地域安全マップの作成等を通じた安全・防犯対策	年度初めに、子どもに教員が同行して「子ども 110 番の家」の場所を確認したり、地域安全マップを確認したりして、安全・防犯対策についての的確な判断・行動ができるようにする。
1-3-③	地域や警察等関係機関と一体となった防犯訓練の実施	警察等の関係機関と連携し、不審者の侵入等に備えた防犯訓練や防犯教室を実施する。

【基本方針 1－基本的方向 5】特別支援教育の充実

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
1-5-①	チームで取り組む校園内支援体制の充実	一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育を実施するため、校園支援体制の充実を行う。
1-5-①	ニーズに応じた合理的配慮の提供	合理的配慮の提供に当たっては、障害のある児童生徒等が十分な教育を受けられるよう、一人一人の障害の状態や教育的ニーズ等に応じ、本人・保護者と合意形成を図ったうえで提供する。
1-5-①	個別の教育支援計画の作成・活用の促進	個別の教育支援計画の作成にあたっては、本人・保護者と合意した合理的配慮及び関係機関の情報を反映するとともに、役割分担したり、見直したりするなど一貫性のある支援のために活用する。

1-5-①	個別の指導計画の作成・活用の促進	個別の指導計画の作成・活用に当たっては、本人・保護者との共通理解のもと、合理的配慮の観点を踏まえ、一人一人の障害の状況等に応じた指導目標・内容・方法等を明確にし、必要に応じて見直しを行う。
1-5-②	交流及び共同学習の充実	インクルーシブ教育システムの構築を見据え、交流及び共同学習のねらいを明確にし、教育課程や個別の指導計画への位置付けや年間指導計画の作成により、計画的・組織的・継続的に推進する。

【基本方針 2－基本的方向 1】教職員の資質・能力の向上

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
2-1-①	児童生徒理解に基づく生徒指導の推進と対応能力の向上	<p>計画的・継続的な研修の実施を通して、子どもや保護者に寄り添う指導の充実と生徒指導体制について全教職員の共通理解を図る。</p> <p>特にいじめについては、学校いじめ防止基本方針に基づいて組織的に対応するとともに、PDCAサイクルによる検証・見直しを行う。</p> <p>また、不登校については、組織的な対応と引継の質的向上を図る。</p>

【基本方針 2－基本的方向 2】学校園の組織力の強化

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
2-2-①	働きやすい職場環境づくり	<p>「男女共同参画 教職員支援ひょうごプラン」に基づき、ワーク・ライフ・バランスに配慮された、校務全般において男女ともに個性と能力を十分発揮できる職場環境づくりを推進するとともに、資料を活用した校内研修、相談体制の充実等、ハラスメントのない職場づくりを進める。なお、ハラスメント行為を見聞きしたり被害を受けたりしたときには、教職員相談窓口等も積極的に利用する。</p> <p>また、毎月、衛生委員会を開催し、教職員の長時間労働による健康障害の防止や、メンタルヘルスの保持・増進に配慮した校内体制等を協議し、構築するとともに、年次休暇の計画的取得の促進や教職員の健全なワーク・ライフ・バランスの保持に配慮する。</p>
2-2-①	学校評価を活用した運営改善と評価結果の公表	<p>「学校評価ハンドブック〔追補版〕」を参考に、学校評価を通じてすべての教職員が学校運営の成果や課題を共通理解する。学校評価の結果は、ホームページ等を活用して広く公表するとともに学校教育目標に反映するなど学校運営改善に活用する。</p>

2-2-②	いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応の充実	各校においては、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、教職員が危機管理意識を持って未然防止、早期発見・対応に努めるとともに、家庭・地域との連携を強化する。あわせて、計画的な研修の実施等により、学校・教職員の対応能力の向上と組織で対応する体制の強化を図る。
-------	------------------------	--

【基本方針 2 - 基本的方向 3】安全・安心な教育環境の整備・充実

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
2-3-②	多子世帯・ひとり親世帯・低所得世帯の保育料負担軽減	多子世帯・ひとり親世帯・低所得世帯の保育料負担を軽減する。 (1) 多子世帯：第2子及び第3子以降が対象 （国及び県の制度、いずれも所得制限あり） (2) ひとり親世帯：第1子以降が対象 （国の制度、所得制限あり） (3) 低所得世帯：第1子が対象 （県の制度、所得制限あり）
2-3-②	実費徴収に係る補足給付事業の実施（保育所・認定こども園・幼稚園）	経済的な理由により、園行事等への参加が困難な園児の保護者に対し、保護者が支払うべき行事等への参加費用、教材費等の実費徴収額に対してその一部を補助する。（国県補助：国 1/3、県 1/3、市 1/3）

【基本方針 2 - 基本的方向 4】家庭と地域による学校と連携した教育の推進

関連施策	取組名	取組内容（概要を簡潔に）
2-4-③	子育てに関する情報発信	子育て家庭や関係機関に子育て支援情報を提供する。
2-4-④	青少年補導委員活動の充実	青少年補導委員による街頭補導パトロールにより、非行を未然に防ぐなど、実情に即して実施する。
2-4-④	学校評議員制度を活かした学校園づくりの推進	地域の声を活かした学校づくりを進めるため、学校評議員会を開催し、特色ある教育活動を行う。
2-4-④	学校関係者評価の実施と結果の公表	学校の取組について、外部からの評価を得て、学校づくりに活かす。
2-4-④	幼稚園・保育園・認定こども園の園児と在宅親子との交流	公開保育や園庭開放により、園児と在宅の子どもたちとの交流を推進する。

豊岡市小中一貫教育の目的と内容

1 目的

- (1) 一人一人の子どもたちの生きる力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。
- (2) 豊岡市の3つの教育課題（学力・不登校・特別な支援が必要な子どもたちの教育的ニーズへの対応）の改善を図る。

2 内容

- (1) 系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践するローカル&グローバル学習の時間
 - ① 英語教育
 - ② ふるさと教育
 - ③ コミュニケーション教育
- (2) 系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する生活指導と学習指導
 - ① 授業づくりと学級づくりの一体化
 - ② 引継ぎ連携システムの強化
 - ③ 家庭・地域との連携

3 豊岡市小中一貫教育に係る施策の総称

豊岡市では、これまで小中連携教育に取り組んできた。その取組の総称を「はばたきプラン」とし、中1ギャップ問題と学力問題の改善に向け共通実践と中学校区の独自実践を柱に据え取組を進めてきた。そして、2017（H29）年度から、小中連携教育の実効性を一層高める小中一貫教育へシフトするにあたり、小中一貫教育として位置付ける取組の総称を「豊岡こうのとりのプラン」とした。小中一貫教育の目的に示した通り、課題を改善するとともに、非認知能力を高めることを土台にして、豊岡で夢や目標を実現させる子ども、また、豊岡に軸足を置きながら世界規模で考え世界にもはばたいていく子どもの姿の象徴として「こうのとりのプラン」をプラン名に冠した。

4 豊岡こうのとりのとりプラン全体構想図

2つの視点と6つの柱で9年間の学びと育ちを支え、生きる力を育む「豊岡こうのとりのとりプラン」

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成
 ～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する
 ローカル&グローバル学習の時間

ふるさと教育

「コウノトリ」「ジオパーク」
 「産業・文化」を共通の学習
 課題にし、豊岡の「ひと・も
 の・こと」に学び、ふるさと
 豊岡を自分の言葉で語り誇れ
 る力の育成を目指します。

英語教育

小学校1年生から、外国語指
 導助手のネイティブな発音に
 触れる機会を通して、英語遊
 び⇒外国語活動⇒外国語科へ
 と9年間の系統性と連続性
 のある学習で、英語でふるさ
 とのこと自分のことを語る力
 を高めます。

コミュニケーション教育

グローバルコミュニケーション
 スキルの獲得を見据え、性
 別や年代を超えて、対等な関
 係の中で自分を主張し、他者
 を理解できる基礎的なコミュ
 ニケーション能力の育成を
 目指します。

子どもたちの生きる力を高め、
 小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子の育成

系統性と一貫性のある寄り添い方で実践する
 学習指導と生活指導

授業づくりと学級づくりの一体化

授業における5つの徹底・継続実践事
 項を軸にした「分かる授業」と、肯定
 的な人間関係を構築する学級づくりを
 一体化させ、「授業で子どもに寄り添
 い、授業で学級をつくる」ことを目指
 します。

引継ぎ連携システムの強化

子どもの声に耳を傾け、子
 どもたちの願いや課題を教職員
 が確実に共有化し引継ぐこと
 で、子どもに寄り添う支援・
 指導を行います。

家庭・地域との連携

「家庭でしつけ、学校で学
 び、地域で育てる」の視点
 で、学校・家庭・地域が一
 層緊密に連携することで夢
 実現力を支えます。

3つの教育課題（不登校・学力・特別な支援が必要な
 子どもたちの教育的ニーズへの対応）の改善

豊岡市不登校対策アクションプラン

	ねらい	取組	取組に関わる関係機関の役割分担					その他の取組
			学 校	県立但馬やまびこの郷	市教育委員会	市教育研修センター	市こども支援センター	
不登校を生まないために	喜びに満ちた学校に 1 学びあう喜び 「わかる授業の創造」	・基礎学力の定着、補充学習 ・授業づくりと学級づくりの一体化	・個に応じたきめ細かな指導の充実 ・授業における5つの「徹底・継続」実践事項の実施 ・授業研究の充実 ・全国学力・学習状況調査による実態把握、授業改革		・不登校指導補助教員の配置 ・成果と課題の集約	・全国学力・学習状況調査の分析と授業改善の推進 ・授業づくり学級づくり研修会	・子ども理解研修講座（コース別）の実施	
	2 つながりあう喜び 「存在感の確立」	・児童生徒理解に基づく生徒指導の充実 ・自己有用感を感じさせる学校行事・学級活動等の工夫 ・キャリア教育の充実 ・心の教育の充実 ・「心をひらく」関係づくり	・生徒指導研修の充実 ・学級活動、児童会・生徒会活動の活性化 ・教育相談体制の充実 ・アセス（学校環境適応感尺度）の実施 ・学校図書館の充実と活用	・研修講師派遣	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（県費・市費）派遣事業の推進 ・豊岡市教育相談室の設置 ・学校図書館ボランティアの登録と活用	・校内研修担当者研修 ・幼小中教職員合同研修教育講演会（教育フォーラム） ・学校園等の研修支援	・10日以上欠席者の欠席状況管理 ・子どもの心を理解する強化月間（5月、9月、2月）	
	力を合わせた教育の展開を 1 信頼と共感に基づいた教育活動の展開	・保護者とともに活動する学校づくり ・家庭教育の支援 ・保護者の支援 ・地域とつながる学校づくり ・基本的生活習慣の確立（睡眠や食事等）	・各教育活動の情報発信と説明責任の遂行（学校だより、ホームページ等） ・学校評議員との連携 ・授業の一般公開（オープンスクール等） ・地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の充実	・研修講師派遣	・乳幼児教育の充実 ・父親の子育て支援 ・「教育委員会だより」による取組紹介 ・「トライやる・ウィーク」事業のPRと支援の継続及び充実	・幼児教育保育研修	・学校訪問活動 ・スクールソーシャルワーカーによる福祉的視点から子どもを取り巻く環境への働きかけ	・まちづくり防犯グループ ・子どもを守る学校安全対策会議 ・子どもと心でつながる市民運動推進協議会
2 15年間で子どもを育てる教育活動の展開	・保幼小中の連携推進	・『豊岡こうのとりのプラン』に基づく中学校区単位における事業の展開（研修会、乗り入れ授業、園児・児童、児童・生徒交流会）		・保幼小連携教育 ・特別支援教育支援員の配置 ・情報交換会	・小中学校不登校担当者研修会 ・中学校区別不登校担当者会 ・特別支援教育研修	・小中一貫教育推進協議会 ・サポートファイルの活用		
		豊岡市小・中学校における児童・生徒の引継ぎシステムの活用 ・全体計画に基づく取組（授業参観、小中ネットワーク会議、小中合同研修会等） ・小中連絡シートの作成と活用						
不登校への対応	自信と確信をもって対応できる学校に 1 個々に応じた対応を	・校内支援体制の確立	・ケース会議等チームによる対応（記録を残す） ・学期別・個人別到達目標の設定 ・別室、放課後登校指導 ・効果的な家庭訪問の実施	・不登校児童生徒の受け入れ ・不登校に関する研修会	・不登校児童生徒数の把握と分析 ・不登校の実態把握と分析 ・不登校対策に係る補助教員の配置 ・豊岡市教育相談室の設置	・小中学校不登校担当者研修会 ・不登校の実態把握と分析（専門委員会） ・不登校対応マニュアルの啓発 ・不登校等対策委員会 ・不登校対策専門委員会	・対応策の指導助言 ・教育相談の実施 ・カウンセリングの実施 ・学校訪問活動 ・到達目標への指導助言	・特別支援教育支援員の配置
	2 組織としての対応を							
	親のネットワークを 1 自信のもてる親に	・保護者との情報交換と支援	・保護者会 ・保護者交流会	・保護者交流会			・不登校家庭への情報提供・伝達 ・保護者交流会	
「こども支援センター」の機能強化 1 適応指導教室の充実 2 不登校対策の中核的機能	・適応指導教室の充実 ・組織での不登校対策の実施	・「こども支援センター」の訪問 ・小中学校不登校担当者会	・各市町適応指導教室への助言	・指導員の配置 ・施設の充実	・指導員の研修	・受け入れ指導 ・家庭訪問、個別懇談会 ・ケース会議の開催		

※H30年度の豊岡市内調査は、小学校は1、3、5年生の平均値の報告としたため
2、4、6年生の県、全国との比較はしていない

※豊岡市は悉皆調査、県は抽出調査による

県・全国の間

県・全国より上
回っている

県・全国より下
回っている

平成30(2018)年度 新体カテスト比較表 [小学校]

数値は平均値

	1年						3年						5年					
	男			女			男			女			男			女		
	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30
	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国
握力	8.86	8.93	9.44	8.40	8.39	8.75	13.14	12.39	12.80	12.59	11.55	12.07	17.04	16.30	16.60	16.59	16.05	16.36
上体起こし	11.08	11.49	12.06	10.29	10.91	11.47	14.46	16.41	16.68	14.74	15.54	15.76	18.74	19.86	20.61	17.38	18.44	19.39
長座体前屈	26.82	25.22	25.85	28.89	27.44	28.41	28.26	28.54	30.07	31.44	31.50	32.75	33.60	32.27	33.78	37.92	36.53	37.95
反復横とび	26.68	27.71	27.95	26.09	26.60	26.83	36.20	35.32	36.10	34.16	33.19	34.62	42.42	42.59	44.01	41.26	40.51	42.00
20mシャトルラン	19.73	17.64	18.63	16.11	15.04	16.16	39.94	38.35	39.57	31.22	28.31	30.41	57.31	55.29	56.90	46.25	43.22	45.58
50m走	12.05	11.51	11.40	11.97	11.91	11.72	10.19	10.00	10.00	10.50	10.38	10.34	9.34	9.20	9.17	9.61	9.50	9.50
立ち幅とび	116.03	113.60	114.92	108.40	105.66	109.07	138.89	136.55	137.76	133.68	127.97	129.44	156.94	155.09	155.10	149.00	148.69	148.01
ソフトボール投げ	8.30	7.83	8.47	5.83	5.36	5.81	14.93	15.48	16.01	10.03	9.31	9.91	24.08	23.25	23.72	14.36	13.82	14.74

平成30(2018)年度 新体カテスト比較表 [中学校]

	1年						2年						3年					
	男			女			男			女			男			女		
	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30
	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国	豊岡	県	全国
握力	24.22	23.32	23.94	22.44	21.75	21.85	29.55	28.74	30.39	24.37	24.16	24.32	34.58	33.73	34.81	25.45	25.50	25.71
上体起こし	23.53	23.24	24.63	21.29	20.82	21.34	26.70	27.07	28.26	22.37	24.11	24.43	28.98	29.91	30.35	23.26	25.20	25.21
長座体前屈	38.24	37.42	39.97	42.59	41.84	44.14	42.58	41.66	45.31	43.76	44.86	47.39	46.77	45.31	47.89	46.37	46.70	48.66
反復横とび	48.58	49.42	50.32	45.56	46.04	46.77	54.01	53.52	54.19	47.66	48.75	48.71	54.56	56.15	56.85	47.74	49.56	49.51
1000m.1500m	430.33	405.68	418.18	319.72	289.98	292.75	383.76	372.21	379.45	288.66	274.01	276.97	367.64	360.03	362.01	291.17	276.59	278.26
50m走	8.59	8.43	8.42	8.89	8.94	8.93	7.90	7.82	7.77	8.65	8.58	8.59	7.61	7.43	7.42	8.75	8.58	8.53
立ち幅とび	182.61	181.08	182.78	167.94	167.26	168.32	198.27	197.91	203.56	171.39	174.36	176.45	214.80	212.56	215.59	172.57	175.41	177.11
ハンドボール投げ	17.19	17.78	18.39	11.59	11.56	12.09	20.79	20.64	21.40	13.47	13.26	13.92	21.85	22.98	24.26	13.33	13.84	14.65

平成30年度 ぐらしのアンケート 集計結果

単位(%)

※調査は各年実施(直近では平成30年に調査)		小3						小5						中2						
		H20	H22	H24	H26	H28	H30	H20	H22	H24	H26	H28	H30	H20	H22	H24	H26	H28	H30	
1	テレビやゲームは、1日何時間くらい見たりしますか。	① 見ない	2.6	2.1	2.2	2.4	4.1	3.6%	0.3	1.0	0.5	0.8	1.4	2.4%	0.0	1.1	1.4	2.5	1	0.3%
	② 1時間まで	25.9	22.8	27.6	20.0	34.2	30.3%	9.7	11.8	8.1	13.4	13.7	21.8%	7.2	5.9	10.0	10.6	15.4	9.6%	
	③ 1～2時間	40.0	34.4	37.6	33.8	34.6	33.5%	33.6	37.3	32.7	35.8	38.8	35.2%	41.3	39.5	46.4	42.0	35.2	39.8%	
	④ 2～3時間	19.8	20.2	18.7	22.4	15.6	18.3%	33.3	28.7	33.7	29.3	24.5	22.7%	32.1	32.3	27.8	28.9	29.1	28.4%	
	⑤ 3時間以上	11.7	20.5	13.8	21.4	11.8	14.3%	23.0	21.1	25.0	20.7	21.5	17.9%	19.4	21.2	14.4	16.0	21.7	21.8%	
2	睡眠時間は、何時間くらいですか。	① 6時間まで	1.1	2.4	3.0	3.6	2.7	2.2%	1.0	1.9	1.7	1.7	1.8	2.1%	7.4	9.3	10.0	10.4	10	4.6%
	② 6～7時間	4.4	4.6	7.1	9.2	5.8	6.8%	7.6	6.4	6.2	7.9	8	6.0%	35.9	35.2	43.2	38.0	36.4	34.0%	
	③ 7～8時間	10.3	18.0	17.7	9.0	15.1	10.0%	24.5	19.8	25.8	20.2	19.1	17.5%	37.7	37.9	33.4	36.5	37.1	44.7%	
	④ 8～9時間	37.2	36.5	37.0	32.9	38.4	37.6%	43.4	44.8	41.8	41.3	45.6	43.6%	15.1	14.9	10.4	12.1	13	13.7%	
	⑤ 9～10時間	40.7	31.0	30.7	35.7	31.7	33.9%	20.8	23.0	21.8	22.7	20.9	25.2%	3.6	2.3	2.1	2.2	2.9	2.3%	
	⑥ 10時間以上	6.2	7.5	4.5	9.6	6.6	9.6%	2.7	4.2	2.7	6.2	4.6	5.6%	0.2	0.5	0.9	0.7	0.7	0.8%	
3	家庭学習の時間は、1日何時間くらいですか。	① ほとんどしない	4.8	3.6	3.9	3.7	2.3	10.2%	3.9	5.4	2.4	2.1	3.4	2.6%	9.0	16.0	4.4	5.4	10.9	6.3%
	② 15分くらい	6.4	9.6	9.1	8.0	7	9.8%	3.7	5.2	4.0	3.7	4.2	7.1%	4.5	5.9	1.6	2.2	3.8	3.8%	
	③ 30分くらい	29.5	26.9	30.9	29.5	33.8	30.9%	20.3	20.8	18.9	17.6	17.5	26.9%	18.3	20.5	9.7	11.6	12.5	20.3%	
	④ 1時間くらい	42.8	40.9	37.2	36.5	40	32.7%	40.7	43.1	40.5	40.6	41.6	34.2%	29.8	32.3	27.6	32.1	30.3	32.0%	
	⑤ 1時間30分くらい	12.1	13.2	13.2	13.5	12.4	11.8%	25.9	19.6	26.5	30.4	25.5	22.9%	25.5	16.3	32.3	27.2	26	24.6%	
	⑥ 2時間以上	4.4	5.8	5.7	8.8	4.8	4.8%	5.5	5.9	7.8	5.6	7.8	6.2%	12.9	9.0	24.4	21.5	14.7	12.9%	
4	1日に家で、読書はどれくらいしますか。	① ほとんどしない	25.7	28.1	31.5	29.2	29.9	36.6%	29.6	29.6	35.2	31.2	33.1	35.3%	53.7	58.9	56.4	57.4	62.4	58.6%
	② 10分くらい	24.6	26.2	29.1	29.2	26.1	27.6%	19.5	20.8	22.1	28.5	27.5	25.8%	13.5	12.4	14.8	14.7	12.8	15.5%	
	③ 20分くらい	21.5	16.1	18.5	20.1	20.5	16.8%	20.0	19.6	18.0	21.7	17.5	19.7%	12.2	10.2	10.9	8.1	6.9	10.9%	
	④ 30分くらい	16.0	14.6	11.8	12.0	13.5	9.6%	17.1	17.9	13.7	10.5	13.1	12.0%	11.5	9.5	9.7	10.4	11.6	8.1%	
	⑤ 40分以上	12.3	15.1	9.1	9.7	10.2	9.4%	13.8	12.2	11.0	8.1	8.8	7.1%	9.0	9.0	8.1	9.4	6.4	6.9%	
5	お手伝いはしていますか。	① ほとんどしない	12.3	12.8	11.6	8.9	8.7	9.2%	13.4	7.9	7.8	6.6	8.6	7.7%	20.1	22.8	18.6	19.0	19.4	17.8%
	② きまった仕事があり、ほとんど毎日する	25.5	29.3	23.8	28.4	28.8	26.9%	27.4	27.4	25.3	24.0	25.1	28.2%	18.3	19.0	22.0	24.4	22.2	22.8%	
	③ きまった仕事はないが、ほとんど毎日する	32.7	27.7	36.4	28.4	28.8	28.9%	27.9	30.2	34.1	32.9	27.1	29.3%	23.7	20.1	23.0	18.5	17.7	23.4%	
	④ 言われて時々する	29.5	30.1	28.3	34.4	34	34.9%	31.3	34.5	32.9	36.4	39.2	34.8%	37.9	38.1	36.4	38.0	40.7	36.0%	
6	朝食は食べますか。	① 毎日 食べる	90.8	88.2	89.8	85.9	85.1	89.7%	86.4	91.2	89.7	90.1	85.5	87.8%	81.5	83.5	84.7	84.2	83.2	87.3%
	② 食べる日が多い	5.9	8.2	7.1	10.0	10.8	7.0%	10.3	6.1	8.1	5.8	9.6	9.2%	12.6	9.0	9.7	8.4	9.5	7.9%	
	③ 食べない日が多い	2.6	3.1	2.6	3.5	3.7	2.4%	2.7	2.4	2.0	3.9	3.8	2.1%	4.3	6.3	4.6	5.9	4.7	4.1%	
	④ 食べない	0.7	0.5	0.4	0.6	0.6	0.8%	0.7	0.3	0.2	0.2	1	0.9%	1.6	1.1	0.9	1.5	2.6	0.8%	
7	夕食は何時ころ食べることが多いですか。	① 午後6時まで	10.8	10.4	12.0	15.6	15.4	14.3%	8.1	8.3	8.6	6.2	6.4	9.2%	3.8	3.6	3.9	5.4	5.4	4.6%
	② 午後6時～7時	54.5	57.9	58.9	53.1	53.9	54.6%	52.8	52.0	55.8	58.5	54.8	53.0%	50.6	49.7	50.3	53.3	53.4	51.5%	
	③ 午後7時～8時	31.2	27.1	25.8	27.2	26.3	26.1%	32.9	34.0	31.0	29.8	32.1	32.1%	38.8	39.3	39.7	34.8	34.3	37.8%	
	④ 午後8時～9時	2.6	4.6	2.6	3.5	3.9	3.6%	4.9	4.9	4.2	5.0	5.6	4.3%	5.6	6.3	5.3	5.7	6.6	5.8%	
	⑤ 午後9時以降	0.9	0.0	0.6	0.6	0.8	1.4%	1.3	0.8	0.3	0.4	1	1.3%	1.1	1.1	0.7	0.7	0.2	0.3%	
8	家では、晴れた日は外で遊んでいますか。	① よく遊ぶ	71.7	63.0	59.1	50.2	51.2	50.5%	55.1	59.3	54.1	53.1	46.8	46.6%	19.0	14.0	16.5	18.0	18.4	18.5%
	② 土・日曜しか遊ばない	17.4	18.5	20.7	28.8	27	28.3%	20.8	17.6	20.2	25.8	25.7	23.1%	40.2	33.9	33.9	31.9	34.6	34.0%	
	③ ほとんど遊ばない	10.8	18.5	20.1	21.0	22	21.2%	24.0	23.1	25.6	21.1	27.5	30.3%	40.9	52.1	49.7	50.1	46.8	47.5%	
9	学校の休み時間(大休けい・星休み等)は、どのように過ごしていますか。	① 体を動かして遊ぶことが多い	77.6	70.4	77.0	75.5	75.1	68.3%	61.0	64.4	58.0	51.4	58.6	60.1%	17.4	11.1	19.5	13.2	13.9	14.0%
	② 本を読んだり、寂だちと話したりしていることが多い	20.6	26.9	19.7	22.4	22.4	27.3%	35.6	32.6	37.4	44.0	36.3	36.5%	76.3	80.6	74.5	80.9	76.8	80.2%	
	③ 特に何もしていない	1.8	2.7	3.3	2.1	2.7	4.4%	3.4	3.0	4.6	4.7	5	3.4%	6.3	8.4	6.0	6.0	9.5	5.8%	
10	学校内、登下校中、家の中であいさつをするようになりましたか。	① はい	66.3	82.3	79.5	78.6	77.0%	74.3	74.5	76.6	79.1	82.5%	51.0	75.9	74.0	72.1	73.1%			
	② いいえ	7.5	1.4	3.3	2.9	3.6%	3.0	3.5	1.6	2.4	3.2%	2.9	2.1	3.0	2.8	3.0%				
	③ 変わらない	26.2	16.3	17.2	18.7	19.4%	22.6	21.9	21.9	18.5	14.3%	46.0	22.0	23.0	25.1	23.9%				
11	昨年に比べ、喜ぶ的に学習に取り組んでいますか。(小学生)	① はい	73.0	72.6	70.5	64.6%	62.1	64.5	68.3	66.8%	53.8	55.4	61	56.1%						
	② いいえ	3.9	4.6	5.6	8.2%	7.1	3.9	4.8	7.4%	5.3	6.7	6.4	5.3%							
	③ 変わらない	23.2	22.8	24.1	27.2%	30.9	31.7	26.9	25.8%	40.8	37.9	32.6	38.6%							

※ 本調査について

・小学校3・5年生については、該当学年が2学級以上ある場合は、1学級のみ抽出して実施しています。

・中学校2年生については、豊岡南中・豊岡北中・日高東中・出石中で2学級、他校は1学級のみ抽出して実施しています。

【H30調査の傾向(H28及び過去調査との比較)】

- 設問1 ▼小3はテレビやゲームに費やす時間が増えている。中2の3時間以上は過去最高の割合(21.8%)となっている。
◎小5では「見ない、1時間以内」の割合が過去最高(24.2%)であり、2時間以上の割合も最小(40.6%)となっている。
- 設問2 ◎中2では睡眠時間が7時間未満の生徒の割合が調査開始以来最も低くなり改善がみられる。小学生では睡眠時間を多くとる児童の割合が増えている。
- 設問3 ▼家庭学習の時間は、前回調査と比べ減少傾向にある。とりわけ小学生においては近年の調査で最も少ないといって過言ではなく、大きな課題ととらえられる。
- 設問4 ▼読書をしていない子どもは増加している。小学生においては「ほとんどしない」児童の割合が過去最高となった。
- 設問5 ◎朝食を毎日食べている子どもが増加し9割近くが毎日食べている。
▼午後9時を超えて夕食を食べる児童が過去最高の割合である(小3で1.4%、小5で1.3%)。
- 設問6 ▼家での外遊びは年々減少傾向にあり、小5では過去最低(46.6%)。
▼学校においても休み時間に何もしていない児童が小3で4.4%あり過去最高の割合となっている。
- 設問7 ▼前学年に比べて意欲的、積極的に学習に取り組んでいると回答した子どもは、前回調査に比べ、全学年で減少した。特に小3においては、過去最低の割合(64.4%)となり、早急な対策が必要である。

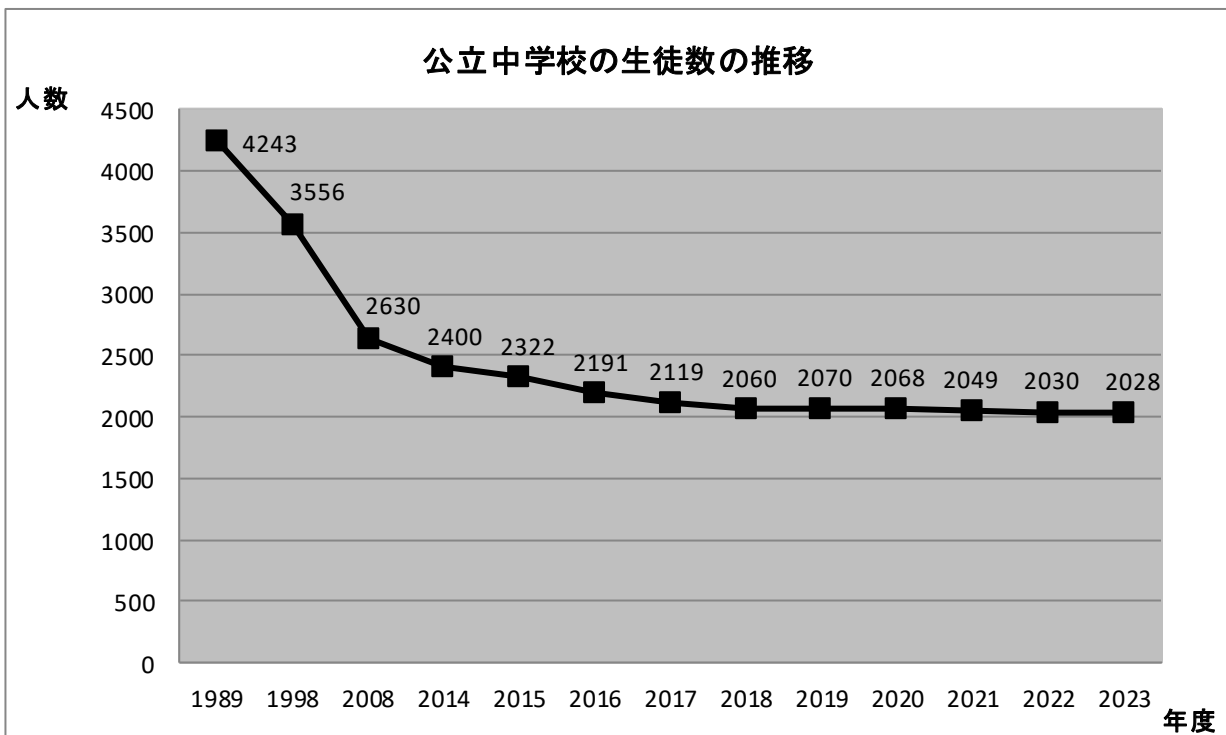
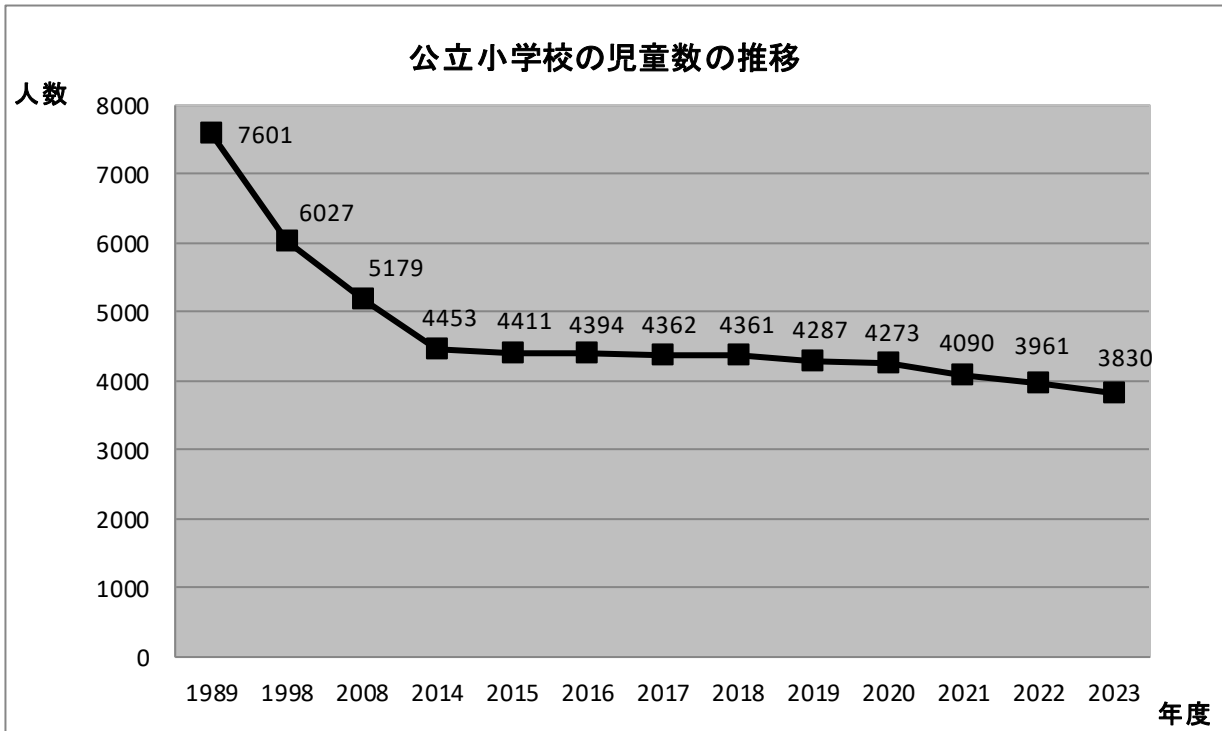
携帯電話・スマートフォン等について

※ 本調査は、平成26年度から全児童・生徒を対象に実施。

調査項目	年度	小学校							中学校			
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全小	1年生	2年生	3年生	全中
自分の携帯電話・スマートフォンを持っている	H30	14.9%	14.1%	29.1%	27.8%	35.6%	38.0%	26.7%	50.6%	53.8%	52.3%	52.3%
	H28	13.0%	16.3%	22.3%	28.5%	31.1%	32.5%	24.2%	39.9%	36.1%	41.8%	39.3%
	H26	13.4%	19.2%	23.2%	24.7%	29.4%	29.3%	23.3%	26.4%	22.3%	23.0%	23.9%
自分の携帯電話を持っている	H24	—	—	9.8%	—	11.5%	—	—	—	11.8%	—	—
	H22	—	—	3.8%	—	5.2%	—	—	—	10.6%	—	—
	H20	—	—	6.4%	—	6.7%	—	—	—	16.3%	—	—
自宅でインターネットを利用している	H30	45.2%	51.1%	66.5%	79.5%	84.7%	90.0%	69.7%	92.6%	94.9%	93.9%	93.8%
	H28	39.5%	47.9%	49.1%	70.7%	77.7%	86.4%	62.3%	88.0%	91.1%	92.6%	90.7%
	H26	26.3%	30.0%	52.8%	68.1%	78.8%	83.9%	56.9%	86.4%	89.3%	92.6%	89.5%
	H24	—	—	48.6%	—	63.7%	—	—	—	82.6%	—	—
	H22	—	—	39.0%	—	64.9%	—	—	—	79.2%	—	—
	H20	—	—	33.2%	—	59.8%	—	—	—	74.0%	—	—
パソコン・タブレットで利用	H30	57.5%	50.8%	58.4%	49.6%	61.1%	70.1%	58.9%	62.6%	63.8%	58.9%	61.8%
	H28	60.9%	43.0%	53.2%	60.0%	64.8%	69.9%	60.4%	66.8%	62.1%	60.1%	62.8%
	H26	56.4%	57.5%	53.4%	67.5%	70.3%	68.0%	64.5%	65.0%	71.0%	72.6%	69.7%
携帯・スマホで利用	H30	51.1%	43.7%	41.6%	50.8%	50.3%	49.9%	48.2%	57.9%	56.7%	61.2%	58.6%
	H28	49.5%	43.3%	33.1%	38.5%	43.5%	48.8%	43.0%	52.0%	40.3%	44.2%	45.3%
	H26	30.9%	28.8%	29.7%	37.5%	40.9%	34.9%	35.2%	29.2%	28.3%	26.2%	27.8%
ゲーム機・音楽プレーヤー等で利用 (DS、iPodなど)	H30	47.9%	46.7%	65.1%	68.6%	66.2%	67.4%	62.5%	59.2%	56.7%	48.9%	54.9%
	H28	41.2%	57.6%	59.7%	60.9%	65.9%	59.1%	58.8%	61.6%	62.7%	52.1%	58.7%
	H26	49.5%	51.8%	67.6%	62.5%	53.8%	63.3%	59.5%	53.7%	57.1%	54.2%	55.1%

- 携帯電話、スマートフォンについては全体的に所持率が増え、中学生においては半数以上が保有している。
- 自宅でインターネットを利用している割合は2年前に比べ全学年で上昇し、小学6年生以上では9割を超えている。
- インターネット利用者のうち、携帯電話・スマートフォンでの利用が全学年で上昇している。2年前も全学年で増加していることから、年々増える傾向が見られる。
- パソコンやタブレットでの利用は、2年前はほとんどの学年で減少傾向が見られた。学年によってばらつきはあるものの、全体的な傾向としては少しずつではあるが減少傾向にある。
- ゲーム機や音楽プレーヤーについては、小学校中・高学年で利用率が高くなっている。反面、中学生においては全ての学年で利用率が減少している。

児童生徒数の推移



- ※ 2019年度以前は、学校基本調査(基準日:各年5月1日)の結果による。
- ※ 2020年度は、児童生徒数見込調査(2020年2月1日現在)の結果による。
- ※ 2021年度以降は、住民基本台帳(2019年4月1日現在)及び就学人数(2019年5月1日現在)をスライドさせて予測値を算出。ただし、中学校は私学等への就学を考慮し、予測値に2019年度の就学率を掛けて算出。

**第 4 次 とよおか 教 育 プ ラ ン
(豊岡市教育振興基本計画)
2020 年度実践計画**

発行年月	2020 年 3 月
編集発行	豊岡市教育委員会 教育総務課
所在地	豊岡市中央町 2 番 4 号
電話番号	0796-23-1117
e-mail	kyouikusoumu@city.toyooka.lg.jp
URL	http://www.city.toyooka.lg.jp